

データ改ざん? - 西日本防災システム

2013 07 31

7月31日大阪市消防局は民間ビルの火災報知機の設置状況などのデータを改ざんしたとして、淀川消防署の男性消防士長(27)を停職1年の懲戒処分にしたと発表しました。消防士長は「火災報知機を設けないなど法令違反を繰り返す建物に何度、立ち入り検査に行っても無駄。組織を困らせようといわずら心でやった」と話しており、同日付で依頼退職したそうです。

発表では、消防士長は今年2~3月に予防担当職員の研修でIDとパスワードを入手し、6月初旬にかけて業務用端末を不正に操作。ビルに自動火災報知機が設置されているのに「設置なし」とするなど建物情報234件と、防火管理講習の受講者の氏名削除など受講情報62件を改ざんしたそうです。データは全て復旧済みで、消防活動に影響はないそうです。

5月下旬、防火管理講習の際に受講者名がなかったため、消防局がシステムを調査したところ、アクセス履歴から消防士長の関与が浮上ったようです。

この消防士長は2009年4月に採用され、11年4月から同署で予防担当を務めていました。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

